

# 地方創生

～「市民の笑顔あふれるまち」の実現のために～



市では、地域経済の発展や活力ある地域社会の形成を図り、少子化と人口減少を克服しようと、「白石市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、国の地方創生交付金などを活用しながらさまざまな「地方創生」事業に取り組んでいます。

今月号では、市が現在取り組んでいる主な地方創生事業についてご紹介します。

## 白石の地方創生事業戦略

独自性を持った事業を多面的に推進

「子育て支援」、「教育環境の整備」、「移住定住の促進」、「雇用の創出」など

+

「核」となる事業を交付金を活用し積極展開

「農産物ブランド化・6次産業化」、「伝統産業の継承」、「販わいの創出」など

住みたいまち  
住み続けたいまち

## Creative 1

安定した雇用の  
創出のために

**しろいし農産物ブランド化推進事業**  
「白いトウモロコシ・ピュアホワイト」をはじめ、「サトイモ」「白カボチャ」「キクイモ」などの試験栽培を行い、栽培・販売を強化する取り組みを支援。

**6次産業化チャレンジ法人支援事業**  
担い手となる法人の自立化に向けた設備投資や販路確保などへの支援。



▲7月3日に開所した6次産業化加工施設「みのりFactory」



▲「みのりFactory」  
佐々木文彦代表理事

**食味日本一の米！復活プロジェクト**  
平成元年に新米の食味全国ランキング（米穀データバンク）で日本一になった「しろいし米」（ササニシキ）の復活プロジェクトを支援。



▲6月2日に白石城で開催された「白石会議」

**伝統産業継承事業**  
白石和紙や弥治郎こけしといった伝統工芸品の後継者育成と技術の伝承を促進。

**地域ブランド確立事業**

地域資源を活用した新たな商品開発（新白石三白）など、新たな地域ブランド創出に向けた取り組みを支援し、稼働力の向上を推進。



▲三白野菜で売り出し中のピュアホワイト、土垂羊、皮が白いカボチャの夢味

**弥治郎こけし村リノベーション事業**  
展示・販売・体験交流スペースなどを大幅に拡充させるリノベーション（大規模改築）を実施。



▲リニューアルした弥治郎こけし村内

## Creative 2

新しい人の流れを  
つくるために

**移住交流サポートセンターの開設**  
本市を訪れるきっかけづくりから、暮らす・働く・交流するなど、地域の魅力や情報の発信、地域内外の方々をつなぐ拠点を開設。

**地域おこし協力隊の活用**

地域協力活動を行いながら定住・定着を図る取り組みである、「地域おこし協力隊」制度を、農林業分野や移住交流分野で活用。



▲5月3日にオープンした移住交流サポートセンター「109-one」と3人のスタッフ

**お試し住宅の整備・貸出**  
市内2カ所で空き家を活用して中・短期的に実際に生活体験ができる住宅を整備。

## Creative 3

結婚・出産・子育ての希望をかなえるために

**しろいし暮心プロジェクトの推進**  
奥羽越列藩同盟の舞台となった白石城をはじめ、関連する史跡や展示物の整備、関連イベントの開催など、本市の歴史文化の魅力発信を強化。

**子育て支援・多世代交流複合施設「こじゅろうキッズランド」の整備**  
子育て・孫育て支援の充実と魅力ある地域づくりを推進するため、大型遊具を設置した年代別の遊戯コーナーや絵本コーナーなど、安心して遊べる屋内遊び場を整備。



▲天候を気にせず、小さい子でも安心、大きい子も体を使って元気いっぱい遊べる「こじゅろうキッズランド」が、8月21日にオープン

**小学校入学祝い金贈呈事業**  
第3子以降のお子さんの小学校入学時に図書カードを贈呈。

**子ども医療費助成事業**

中学校3年生までの入院と医療費について所得に関係なく助成。

**一時預かり事業の開始（南保育園内）**

保護者の急な仕事や用事、育児疲れなどの負担軽減のため、児童の一時保育を開始。

## Creative 4

安心な暮らしを  
守るために

**市民バスに「中心市街地循環便」を試験導入**

買い物や通院などのための新たな公共交通手段として、市民バスに中心市街地循環便を試験的に導入。

**城花町しろいし事業**

公園への花植え付けやオープンガーデンの推進など、花や緑を育てる環境作りを推進。



▲各家庭で種から育てたマリーゴールドをJR白石駅前の花壇に植栽

地方創生に関する建設的なご意見・ご提言をぜひお寄せください。白石市の地方創生事業の詳細は市公式ホームページをご覧ください。

☎地方創生対策室  
☎22-1561